



やまがた

専門学校で救急救命士の資格を取り、現在消防士として山形消防署に所属している。不幸にも事故や急病に見舞われた人をいかに早く助けるかを常に心がけていて、助けた方が無事に社会復帰されたらと聞くと、自分のことのように嬉しく感じるという。「救助活動の幅を広げるため、今後も勉強・トレーニングを続けます」と語ってくれた津久井さん。

地域に住む者として防災を心がけているが、万が一を考えるとこれほど頼もしく感じることはない。(3月17日 山形消防署にて)



働姿
シリーズ

119

津久井 靖さん
つぐい おさむ

告知板

第28回市町村対抗駅伝競走大会

日時 4月28日(土)
午前10時10分スタート
場所 松本平広域公園陸上競技場発着
備考 全9区間 42.195km

第14回市町村対抗小学生駅伝競走大会

日時 4月28日(土)
午前10時45分スタート
場所 松本平広域公園陸上競技場発着
備考 全4区間 6.1km

平成30年度公民館講座(上半期)

今年度も多種多様な講座をピックアップしました。詳しくは、この館報4月号と同時にご家庭に配布される「学びの情報」をご覧ください。

山形村図書館子ども読書週間

今年の読書週間企画は「次、なに読む?」です。虫、乗り物、妖怪、探検...など、自分の好きなものから本にアクセスしてみましょう。

期間 4月23日(月)~ 5月12日(土)



3月21日(水)、トレーニンングセンターめばえの部屋にて図書館主催のブックカバーバッグ作りが行われました。お気に入りの絵本のカバーがバッグになるということで、先生のお手本を子どもたちが真剣な目で見ていました。

ブックカバーバッグ作り



3月27日(火)、トレーニンングセンターふるさと大ホールにて29年度に実施されたソフトバレーボールリーグ戦の閉会式が行われました。激しい戦いを制した上位チームが、ソフトバレーボール連盟の春日会長から表彰を受けました。

ソフトバレー閉会

ソフトバレーボール
リーグ戦結果
6人制

- Aリーグ
 - 優勝 アンフエア
 - 準優勝 ダークホース
 - 第3位 アトラス
- Bリーグ
 - 優勝 S缶モンスターズ
 - 準優勝 チーム南ずら
 - 第3位 仲町 軍団
- 女子リーグ
 - 優勝 めちゃ manna
 - 準優勝 Treasure
 - 第3位 オリーブ
- 4人制リーグ
 - 優勝 バレッツ
 - 準優勝 プレアデス
 - 第3位 SPADE

消防団辞令交付式

4月1日(日)、山形村消防団の辞令交付式が行われました。新団長、副団長への辞令交付が村長室で行われた後、役場駐車場にて分団長をはじめとする各分団の幹部団員と新入団員に対して、堤団長から辞令が交付されました。早朝の張りつめた空気の中、団員の真剣な表情が印象的でした。



春季総合訓練

4月8日(日)、トレーニンングセンターにて消防団の総合訓練が行われました。悪天候が予想されたため体育館での訓練となり、135名の団員の皆さんが、真剣に訓練に臨んでいました。



山すそ

3月に下の子が山形小学校を卒業しました。上の子から数えると14年間もお世話になり、さまざまな経験をさせてもらいました。昨年、地域の方たちの支援を受けて学んだ「ふるさと学習」。村内を探索し、「村の宝」を見つけました。私もボランティアとして参加して思ったことは、嫁に来て22年も経つのに村内を歩いて回ることもなく、車で通り過ぎていく場所に多くの宝があることを知った。まだ知らない場所を館報発信の「山プラ」で教わることがある。ベテランB氏が昔の話や若い頃の体験を紐解いて自分の足を使って調べあげたこだわりのページ「山プラ」を見てもうれば、より一層「村の宝」守るべき大切なものがこの村にはたくさんあることが分かるのではないのでしょうか。「村の宝」を守っていくためにも、今回の村議選で選ばれたみなさんに、自分にとっての宝とは何かを見つけてもらいたいですね。過去最低を記録した投票率。村民の方たちに、これからどのように村政への興味をもってもらおうのか、腕の見せどころではないでしょうか。

人の動き



(敬称略)

区長(新任)

上大池 籠田 利男
 小坂 須山 正光
 上竹田 増澤 武志

保育園保護者会

会長 齋藤麻砂江
 副会長 奥原 理恵
 副会長兼書記 百瀬 加代
 会計 上條 光子
 幹事 保坂 未喜
 支部長(上大池) 石田 志乃
 支部長(中大池) 大澤 美保
 支部長(小坂) 古田 光代
 支部長(下大池) 瀧本 勲
 支部長(上竹田) 太田 裕子
 支部長(下竹田) 赤羽あゆみ

新緑の季節を迎え、新たな風を吹かせます

山形小学校 P T A

会長 直井 正一
 副会長 神農 来栄
 会計 百瀬由香里
 監事 矢彦沢千穂
 支部長(上大池) 梶 美嘉
 支部長(中大池) 東 祐司
 支部長(小坂) 塩原 明子
 支部長(下大池) 平林 克視
 支部長(上竹田) 佐野 学
 支部長(下竹田) 宮澤由起子
 支部長(下竹田) 市川 美香

鉢盛中学校 P T A

(山形関係分)
 副会長 種田 亮太
 監事 丸山 朋実
 教養部長 尾 芙豊
 施設厚生部長 伊藤 みさ
 支部長(上大池) 奥田 梓
 支部長(中大池) 皆木 美和
 支部長(小坂) 稲田 純司
 支部長(下大池) 大槻 知美
 支部長(上竹田) 野口 淑子
 支部長(下竹田) 古箭身奈子

中学校に迎えた先生

校長 藤田 克彦(筑摩野中より)
 上條 郁男(波田中より)
 塩原ゆかり(堀金中より)
 近藤 基(豊科南中より)
 太田 綾子(筑摩野中より)
 長谷川美佳子(女鳥羽中より)
 高山 智史(旭町中より)
 白石 康平(新規採用)
 押元 早苗(旭町中より)
 川上 圭子(岡田小より)
 木下 喜美(菅野中より)
 小原 照吉(初任研指導)

スポーツ推進委員

委員長 佐藤 岳
 副委員長 中野 剛
 上條 久美
 直井 佳代
 種田 亮太
 上田 敏和(新任)
 小林 弘和(新任)
 長瀬 靖志(新任)
 百瀬枢実枝(新任)

新編集部員紹介



和道 塩 (下大池)

山形村に移り住んで18年になりますが、まだまだ知らないことが多いです。不安がいっぱいではありますが、皆様に楽しんでいただけるようないきいきと取り組んでいきたく思います。今後、取材などで皆様のご協力をお願いします。また、取材の機会があるかと思いますが、どうか温かい気持ちで迎えていただくと幸いです。よろしくお願いたします。



小野 百恵 (上竹田)

山形村生まれ31歳です。北信の渋温泉やアフリカなどで暮らしていましたが、現在は下本郷の実家に落ちついてます。山形村で面白い試みをしている人達を紹介して人をつなげ、村の活性化に一役買えるような仕事ができたらいいなと思います。村内や松本平を鮭色の自転車で行き回っていますので、見かけたらいろいろ情報を教えてくださいたいです。



丸山 智彦 (下竹田)

はじめまして三十年度から館報編集部員を務めることになりました丸山智彦です。今まで社会部、体育部、PTA会長などにたずさわわり、今は消防団で副分団長をしています。今回館報部員になり分らないことなどあると思いますが、先輩を頼りにし今までの経験を生かし常に前向き、ボジティブに活動を楽しんでいます。よろしくお願いたします。

議員に みました

◆ 大池 俊子 ◆

一、合葬墓を早期に実現
墓を守れない・後継者がいな
いなど、増々切実になってい
る。
二、障がい児(者)の相談窓口を
障がい児(者)を持つ家族の
方は、声を上げにくく、自分た
けで悩んでいる方も多い。「手
をつなぐ親の会」の様な組織が
ほしい。孤立をなくしたい。公
共施設のトイレ改修も。
三、議会報告会の開催
地域に向いて、議会報告会
を開いて、村民にもっと村・議
会を知ってもらおう。

◆ 小林 幸司 ◆

一、災害時の消防団への協
力として、消防経験者や、女
性消防員を依頼し自警消防隊
を組織したいと考えます。
二、山形村の主幹産業である
農業面で、これからの農業に
夢が持て実現できるように、
補助政策の充実、実現に向け
て活動していきたいと考えま
す。
三、福祉の充実の一環として
村内にまだ少ないグループホ
ーム作りを検討していきたい
と考えます。

◆ 上條 倫司 ◆

毎日の暮らしが、安全で
安心して暮らせる山形村に
して行きたい。災害や交通
事故が無く、学校教育、生
涯教育による人づくりによ
り、安定した収入が得られ
農業、商工業の振興による
活気あふれる村づくりを目
指します。
毎日健康で暮らせるのが
第一です。山形村は野菜王
国です。自分で作ったトマ
トを食べてみませんか。自
分で作ったスイートコーン
をかじってみませんか。お
いしいですよ。

◆ 大月 民夫 ◆

なんと言っても過去最低を記録
した投票率結果を、「新議会がどう
受け止めるか」からのスタートが
必要だ。
議会が住民サイドに積極的に入
り込む「議会報告会」の制度化や、
議会の活動原則や基本理念を定め
る「議会基本条例」の議論を加速
化し、議会の役割や責務を村民の
皆さんにお伝えしながら、議会の
存在感を示し信頼感が得られる議
会改革を全議員で目指したい。
辻井 伸行さん
(盲目のピアニスト)
彼が国際コンクールに出場の際、
交響楽団との共演課題で、楽団側
のミステークを瞬時に包み隠す天
才的技量が「優勝」の引き金にな
ったと言われております。人への
思いやりの教訓としております。

◆ 福澤 倫治 ◆

一、福祉の充実
村政から離れて、社会
福祉協議会の仕事に携わ
った時、村の福祉に対す
る方向性が少しおかし
いなど感じたから。
二、行政と住民の皆さん
との、情報の共有化
村で施行する事業は、
地権者に対する説明は当
然でありますが、その事
業による影響(恐れ)が
ある場合は、範囲を広め
て説明し、理解を求め
ようにする。
著者不明。「人権教育
は自分探しの旅である」
という言葉が頭の中に残
っている。

◆ 春日 仁 ◆

「子育て支援」です。病
児保育・小学校低学年ク
ラスの適正人数等々、取
り組む問題は多岐にわた
ります。その中でもまず
は「高校生の通学手段」
に対する問題です。我が
子が高校に通い出すと、
この村の不便を改めて感
じます。私の家でも長女

が高校生の時は、塩尻の
高校まで自家用車での送
り迎えを選択した経緯が
あります。

王貞治さんです。ファ
ンの方全員にサインをし
てから球場へ行った逸話
とか、世界一になっても
威張る事無い姿勢に感銘
を受けました。

◆ 百瀬 章 ◆

長いスパンで取り組みたいことは、
避けて通れない人口減少を緩やかにす
ることです。国立社会保障・人口問題
研究所の推計によりますと、平成37年
度の山形村の人口は8209人になり
高齢化率が30%になります。他市町村
と比べ減少率が低いので、危機感は薄
いのですが、村税が減り農業従事者が
少なくなり、逆に社会保障費などがふ
くらみ続けます。5年前の村の基本計
画では平成34年度の人口を9千人と設
定していましたが、後期基本計画では

8千3百人に変更しました。人口の自
然増、社会増を目指し、結婚支援、空
家を利用するなどしての移住者の拡大
そのための村の知名度向上や予算措置
など、村と情報を共有し現状を分析し
た後、将来を見据えて人口問題に取り
組んでゆきます。

出雲市長から衆議院議員に転身した
岩國哲人氏。市長の時に「行政は最大
のサービス産業」を掲げ、数々の新施
策を打ち出し実現しました。状況分析
力、発想力、実行力及びリーダーシッ
プに優れている人であるからです。

Q 好きな著名人は？

新村議会議員 聞いて

Q 取り組みたい事はなんですか

◆百瀬 昇一◆

山形村でも近年、連絡班の未加入世帯がますます増えつつあります。

そんな中、上竹田区長を経験させていただきましたが、いろんな事情の中で区・連絡班へ加入しない世帯、また脱退する世帯が毎年数多くありました。

【村づくり】は、人・後継者づくりを根幹にして、地域の自治

組織づくりです。

村づくり条例を制定し、自治組織への支援、加入世帯への助成などを盛り込んでの制定をしていきたい。

感銘を受けたと云うより、今意識させてもらう言葉は、「生きていくことに感謝する」です。この言葉は京セラ・KDDIの創業者稲盛和夫さんの六つの精神の一つです。

【人間は一人では生きられない】

◆小出 敏裕◆

山形村に転居して25年が過ぎました。その間、難病による左足切断で身体障がい者となり、もどかしい思いや辛い体験もしました。

このような経緯と、医療・介護の現場を長年歩んできた経験を活かし、障がい者と高齢者の福祉にはギャップがありますが、双方の立

場に立った福祉のあり方、山形村の将来を見据えた福祉の構築に取り組みたいと考えます。

私が感銘を受けた人物は、山本周五郎作の赤ひげ先生です。夜更けでも自転車で行診に出かけた父親と、その姿が重なるためかもしれません。

◆竹野入 恒夫◆

議会基本条例（まちづくり基本条例）の施行。村長らが条例案を説明し、議員は質問するだけという山形議会のあり方を見直し、活

発な論議を促すのが目的。見える村政・議会のあり方を村民に対して宣言するもので、議会の「最高規範」といえる。人口減少や超高齢社会への対応など、これまで経験したことのない多種多様な膨大なサービスへの村民要望増大の可能性を含んでいる。一方で厳しい財政状況の中で、村民の理解を得ながらより高い満足度を実現するために村民と様々な分野の「協働」が不可欠なものとして認識されている。全議員が同じ目線で考えていくことが先決である。オバマ前米大統領が、広島に慰霊に訪れた事に感動した。

◆三澤 一男◆

「議会基本条例」の制定議会への住民参加の環境整備を行いたいと考えます。

今まで、一般質問の質問回数の撤廃や休日議会の開催等を行ってききましたが、議会を多くの皆さんに知って頂き、共に考え参加する仕組みが不十分だったと思います。

投票率の低下は真摯に反省し、より身近な議会を目指してまいります。

呉歌信濃の国の5番に出る太宰春台先生、江戸時代中期の儒学者「経済」という言葉を広めた人。語源は中国古典で経世済民、世を經（おさ）め民を済（すく）つこと。

◆新居 禎三◆

村の特徴を生かして交流人口を増やし活性化をはかる。

今後予想される少子高齢化による人口減少社会に対応するために、山形村の資源である農産物を生かした収穫体験、生産物を加工して6次化産品の開発やそば打ち体験などを通じて、広く情報発信を行い、「信州山形村」の認知度を向上し、今以上の交流人口を増やし、村の活性化をはかる。

マハトマ・ガンジー

非暴力・不服従を貫き世の中の変換を求め、自己に厳しく他人に対しては寛容を貫き目的を成し遂げた。

3月25日（日）任期満了に伴う村議会議員選挙が行われた。8年ぶりとなる村議選挙であったが、投票率は14.3%減の58.76%に止まった。

税金の使い方や行政サービスのチェック、村民のパイプ役となり行政に働きかけ実行させるなど、私たち村民にとって身近な存在であるはずの村議会議員。それなのに村民の関心が無くなりつつあることを残念に感じている。この先も『豊かな山形村』であり続けることを願ってやまない。

前回の投票率との比較 マイナス14.30%	投票率		投票者数		当日の有権者数	
	女性	男性	女性	男性	女性	男性
	59.52%	57.98%	2,147人	2,028人	3,607人	3,498人
	58.76%	57.98%	4,175人	4,282人	7,105人	7,105人





地域に対する 恩返しの気持ちで

4月の 声

平成30年度
山形小学校PTA会長 直井 正一（中大池）

このたびPTA会長という大役を務めさせていただき、このお話をいただいたとき、山形小学校の卒業生ではない私が引き受けてよいものか考えてしまいました。山形村へ引越してきた時のことを思い出してみました。

21年前、もともと山形村で活動する社会人サッカーチームに所属していたこともあり友人もいたため、この山形村に住もうと決めました。そしてサッカーを通じてたくさんの方々と知り合うことができ、また、たくさんの温かいご縁に恵まれてきました。そして、このおかげ様のご縁から山形少年サッカークラブの指導者をやらせていただく様になったのが8年前。学校教育とはまた違う社会体育活動という立場ではありますが、地域の子どもたちの育成に携わらせていただき貴重な経験をさせてもらっております。

今回この大役を引き受けさせていただこうと思ったのも、サッカーを通じて出会えた子どもたち、お世話になったたくさんの方々へ何か自分なりに恩返しが出来たらと思いい決心いたしました。

また、昨年度は副会長として

PTA活動に携わらせていただきましたが、学校運営協議会や、ふるさと学習、読み聞かせボランティアや学習支援、見守り活動など子どもたちのためにたくさんの方々の支えがあることを感じました。

山形小学校は、保護者、学校、地域が連携して子どもたちを育てていく『コミュニティ・スクール』が導入され4年目となります。ますます地域の皆様との関わりが大切になってくると考えております。そこで、今年度のPTA活動方針としまして『子どもたちのために』保護者、学校、地域が一体となった活動をめざす」というテーマを掲げました。とても大きなテーマではありますが、まずは地域の宝でもある子どもたちのために活動するという共通の気持ちを皆が持ち、一年間活動出来たらと考えております。

新年度となり、PTA会長という大役の重責を日増しに感じ不安な気持ちもありますが、先生方、保護者の皆様、また地域の皆様のご協力のもと、一年間明るく元気よく、精一杯頑張つて活動していきまますのでよろしくお願ひ致します。

さくらの下のコンサート

4月14日(土)、第14回さくらの下のコンサートが小学校体育館にて開催され、小中学校と地域住民の皆さんの合唱団と吹奏楽団が、美しい演奏を披露しました。

4月に入り暖かい日が続い



活き生き大学 閉講式

3月27日(火)、平成29年度公民館講座「活き生き大学」の閉講式がトレーニングセンターで行われました。今年度最後となる今回は、みんなが歌を歌ったりしながら、休憩をはさんだ茶話会を楽しみました。



たこともあり、枝垂れ桜は散り始めていましたが、演奏の途中でラジコン飛行機から桜の花びらが舞う演出もあり、会場は満開の桜を思わせるような華やかさがありました。数年前までは、屋外でのコンサートが行われており、ライトアップされた枝垂れ桜と共に思い出深い方も多いのではないのでしょうか。

山形小学校PTAきずな会が主催するコンサートは、今年が最後の開催となります。観客の皆さんからは、さくらの下のコンサートが今後再開されることを願う拍手もあり、村の風物詩としてこのコンサートが続いていくことを願いたいと思います。



おめでた(子・親)

堀山 美優・知幸 さゆり・小坂

樽沼 杏・智幸 理恵・中大池

藤澤 莉桜・啓貴 早紀・下竹田

おくやみ

平沢いく子・91歳・中大池

さあ、新天地で新たな思い出を作ろう！



そつえんおめでとう

卒園式
3月24日(土)

やまのこ保育園



卒園式
3月23日(金)



山形保育園



入園式
4月4日(水)



にようえんおめでとう



入園式
4月4日(水)




子どもを育てる

シリーズ

子どもの体験活動の国際比較

次の表は、「子ども体験活動研究会」(代表) 信大教育学部助教授、平野吉直氏のまとめによるものです。日本の小中学生の意識や、親との生活の実態が表わされています。

みなさんはこの表から何を感じるでしょうか。

子どもの体験活動の国際比較 (1999.10調査)
(「いつもしている」と答えた小中学生)

	日 本	韓 国	アメリカ	イギリス	ドイツ
買物の手伝い	7%	17%	35%	33%	16%
家の中の掃除・整理	9%	24%	43%	23%	14%
いじめを注意した	4%	9%	26%	17%	25%
友人のけんかを止めた	6%	27%	23%	23%	25%
老人・障がい者を助けた	6%	10%	18%	13%	23%
困っている友人の相談	20%	26%	51%	48%	44%
夜の星をゆっくり見る	26%	35%	54%	54%	44%
昆虫を捕まえたこと	34%	27%	16%	9%	14%

鉢盛中学校

入学式
4月5日(木)



祝 入 学





1 組

担任
中村

典子
先生



2 組

担任
犬飼

愛香
先生



3 組

担任
土井田

直子
先生



入学おめでとう！
78人の一年生